

# 平成 28 年第 1 回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	120 分
1	24	大崎ニューネット 青沼智雄	<p>1 合併 10 周年を顧みた今後の展望と施策について</p> <p>(1) 新市建設計画の達成度</p> <p>(2) 財政再建の達成度</p> <p>(3) 少子高齢化と旧市町の人口動態</p> <p>(4) 人口減少社会の進展と今後の地方行政</p> <p>(5) 行政改革について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 平成 28 年度において第 2 期行政改革大綱を策定としているが、27 年度終了の第 3 次集中改革プランの総括はどのようになっているのか</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 第 2 期行政改革大綱策定に当たって、どのようなプロセスで策定するのか</p> <p>(6) 職員の人的育成について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 特に若手職員が創造的な施策提言を図るための環境構築</p> <p>2 市役所本庁舎等の建設について</p> <p>(1) 本庁舎建設計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 施政方針では、28 年度に職員中心による検討で基本構想を策定するとあるが、限りなく市民の声も取り入れ、市民に親しまれる本庁舎建設をすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 計画全体の進捗が当初より 1 年延期となるのか、伺う</p> <p>(2) 総合支所建設計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 田尻総合支所と鳴子総合支所の建設は、人口減少時代に相応した設計であるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 市産材の活用推進への考えはどうか</p> <p>3 定住と交流を支える交通基盤づくりについて</p> <p>(1) 高速バスの利便性向上を図るため、利用者に優しいバス停留所にすべきと思うが、所見を伺う</p> <p>4 大崎市過疎地域自立促進計画について</p> <p>(1) これまでの対策と成果はどうか、伺う</p> <p>(2) 今後の課題について伺う</p> <p>5 防災対策について</p> <p>(1) デジタル防災行政無線整備事業の進捗と運用状況はどうか</p> <p>(2) 難聴世帯への戸別受信機配備の考えは</p> <p>(3) 移動無線機の配備体制はどうか</p> <p>(4) 雨量・風速・気象観測システム整備構築への考えは</p> <p>6 雨水対策事業について</p> <p>(1) 局地的大雨による浸水や崖崩れ等の観測と対策について所見を伺う</p> <p>(2) 雨水管路の整備や雨水幹線管渠の整備見直しはどうか</p> <p>(3) 三本木新町第 1 ポンプ場整備と雨水貯留施設整備の導入について、浄化槽設置事業を参考に整備すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>7 子育て支援について</p> <p>(1) 保育環境の整備と不足する保育士の待遇改善について所</p>	120 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>見を伺う</p> <p>8 農林畜産業振興と環太平洋パートナーシップ対策について</p> <p>(1) TPPと本市の対応について</p> <p>ア TPP協定締結後、各農産物の長期的な影響が懸念されるが、対策はどうか</p> <p>イ 後継者、担い手育成等、持続可能な経営とするための将来展望への考えは</p> <p>ウ 担い手強化対策専門員の設置について所見を伺う</p> <p>エ 青年就農給付金制度を活用した、認定新規就農者の確保と支援策について所見を伺う</p> <p>(2) 国では、攻めの農林水産業への転換として、高品質な農林水産物の輸出等、需要フロンティアの開拓を目指している。本市にある古川農業試験場で育成したささ結等の新品種の対応や、輸出に向けた取り組み等をどのように展開しようと考えているのか、伺う</p> <p>(3) 子牛価格がかつてない高値で推移しており、今後もその傾向である。国では、餌代補填のマルキンの法制化等を視野に入れているが、肥育農家の経営は非常に厳しい状況になっている。施政方針では、今後の枝肉市場の動向を踏まえて支援を検討するとしているが、肥育農家は子牛を買えず、規模を縮小せざるを得ない状況にある。本市として、3JAとの連携を取りながら、早期に肉用牛生産への支援をすべきと考えるが、どうか。</p> <p>(4) 世界農業遺産の認定について</p> <p>ア 28年度は、いよいよ世界農業遺産の認定に向けた申請になる。昨年からの農水省の推薦が頂けるよう取り組んできたと思うが、地域全体の盛り上がり等の課題も含め、認定に向け万全の体制で順調に進んでいるのか。また、国内の状況もあわせて伺う</p> <p>イ 国内申請に向けたコンセプトについての考えはどうか</p> <p>ウ 大崎地域世界農業遺産推進協議会が中心となって農業システムの整理とあるが、具体的な内容はどうか</p> <p>エ 先人が築いてきた豊穡の大地「大崎耕土」において、人の生業や動植物の成長に欠くことのできないのは、大地、太陽、清流である。大崎耕土を流れる2大清流をはじめ、水の恵みに感謝し保持するためにどれ程投資をしているのか</p> <p>9 商業振興について</p> <p>(1) 中心市街地の空き店舗対策と商業支援について</p> <p>ア 事業開始から本格開業に至った店舗数はどうか</p> <p>イ 商業支援窓口の拡充と各地域での空き店舗対策への考えは</p> <p>10 観光振興について</p> <p>(1) みやぎ大崎観光公社と大崎観光物産センターの運営体制の検証と今後の連携体制についての考えは</p> <p>11 学校教育について</p> <p>(1) 学校教育環境整備（統合、再編）での経過と今後の見通しはどうか</p> <p>(2) いじめ、不登校対策では、未然防止、早期発見、早期対</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
2	6	改新クラブ 中鉢和三郎	<p>応が必要だが、所見を伺う</p> <p>(3) 宮城県の志教育と大崎の志教育のあり方についての所見を伺う</p> <p>12 病院事業経営について</p> <p>(1) 500 床となった市民病院本院において、経営改善に向けた取り組みはどうか</p> <p>(2) 病院事業での不祥事等の再発防止と医療事故の防止対策について所見を伺う</p> <p>(3) 看護師確保と育成対策への考えは</p> <p>(4) 旧市民病院本院南病棟の活用として、民間活力を利用して新たな活用法（介護保健施設や病後児童施設等）を検討してはどうかと考えるが、所見を伺う</p> <p>13 住宅整備事業について</p> <p>(1) 老朽化した市営住宅の改修及び建替計画への考えは</p> <p>(2) 上鳴子住宅と鹿島台鈴掛住宅整備で、コンセプトやグレードについての考えはどうか</p> <p>14 道路建設事業について</p> <p>(1) 長者原スマートICの24時間化に伴う道路整備と橋りょう長寿命化修繕事業への所見を伺う</p> <p>1 新年度一般会計予算総額について</p> <p>(1) 新年度一般会計予算を、640 億円を超える過去最高の積極予算と評している。しかし、地方交付税の合併算定替終了を見据えると、財政運営としては総額を抑制する方向に舵を切る時期に来ているが、積極予算を組んだ意図を伺う</p> <p>2 第2期行政改革大綱について</p> <p>(1) 新年度に策定することとしているが、策定に当たっての基本方針を伺う</p> <p>3 本庁舎建設について</p> <p>(1) 新年度において、基本構想の策定に着手とのことだが、現在の分庁舎方式は解消されるのか</p> <p>(2) 現在の東庁舎はそのまま使用するのか</p> <p>(3) 市民病院旧本院南病棟の庁舎としての転用は考えているのか</p> <p>4 田尻総合支所庁舎建設について</p> <p>(1) 場所のみ決定したようだが、本来、場所決定以前に総合支所として備える機能や、地域振興、観光振興といった付加的な機能をどうするのかの議論がなされるべきと考えるが、検討をしたのか、伺う</p> <p>5 鳴子総合支所庁舎建設について</p> <p>(1) 新年度、地域住民と議論するとしているが、建設場所についてはばかりがクローズアップされ、本来議論すべきことがなおざりになってはいないか。議論をどのようにリードする考えか、伺う</p> <p>6 地域支援コーディネーターについて</p> <p>(1) 同コーディネーターの役割を伺う</p> <p>(2) 同コーディネーターを迎えて、地域自治組織がどのよう</p>	90分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>になることを想定しているのか、伺う</p> <p>(3) 経費を支援する際の金額、期間、財源を伺う</p> <p>7 防災対策について</p> <p>(1) 古川市街地中心部等の屋外拡声子局を整備できない地区の補完システムの整備について伺う</p> <p>(2) 試験放送が始まったエリアでは放送が聞こえないとの声が出ているが、今後どのように改善するのか、伺う</p> <p>8 空き家対策について</p> <p>(1) 本年度実施した実態調査の結果はいつ公表されるのか</p> <p>(2) 空家等対策計画策定と、空き家の適正な管理、有効活用がどのように結びつくのか、ロジックを伺う</p> <p>(3) 空き家対策の肝は、空き家の資産としての流動性をいかに高めるかだと考えるが、流動性拡大に向けた施策を伺う</p> <p>9 林業振興について</p> <p>(1) 公共施設の木質化など大崎産材の利用促進を図るとのことだが、先般建設した中山コミュニティセンターにどれだけの大崎産材が使われたのか、伺う</p> <p>(2) 新図書館にどれだけの大崎産材が使われる予定か、伺う</p> <p>(3) ここで言う公共施設の木質化は、どの施設をイメージしているのか、伺う</p> <p>10 湯治文化ビジネス創造事業について</p> <p>(1) 新たな観光プログラムのメニュー化とは具体的にどのようなことか、伺う</p> <p>(2) 商品開発とは具体的にどのようなことか、伺う</p> <p>(3) 地方創生交付金頼みの事業で、交付金があるうちだけやるようなことでは意味がないと考えるが、持続的な内容となっているか、伺う</p> <p>11 再生可能エネルギーについて</p> <p>(1) バイオマス産業都市構想の認定を受けたとのことだが、そのことが今後どのように生かされるのか、具体例を伺う</p> <p>(2) 同認定について、職員でも知らない者がいるほどあまり周知されていないが、なぜ市役所を挙げての取り組みとしないのか、伺う</p> <p>12 産業創造推進事業、創業支援事業について</p> <p>(1) MSOを受け皿として想定しているが、資金面や人材面など課題も多い。本来、産業振興、産業創造、創業支援等々行政が果たすべき役割をMSOに期待するからには基金の創設や長期的な視点に立った人材育成など、行政も果たすべき役割をしっかりと果たすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>13 企業誘致について</p> <p>(1) 企業誘致の本年度の実績と新年度の見通しについて伺う</p> <p>(2) 一般的に製造業は、労働集約的産業から資本集約的産業に変貌しており、誘致しても雇用創出力は限定的となっている。今後、企業誘致はどのような産業に狙いを付けるのか、所見を伺う</p> <p>14 観光振興について</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
3	16	大志会 富田文志	<p>(1) 大崎市観光振興ビジョンに係るアクションプラン(案)には、誰が、いつまでに、何を、どのように実行するかが明示されていないが、このようなプランで真の鳴子温泉郷の再生が果たされるのか、伺う</p> <p>(2) みやぎ大崎観光公社が取り組む地域一体型観光とはいかなるものか、伺う</p> <p>15 治水対策について</p> <p>(1) 9・11 災害に見舞われた河川の治水安全度向上が喫緊の課題だが、新年度の取り組みを伺う</p> <p>16 病院事業について</p> <p>(1) 昨今の不祥事は、組織の風通しの悪さが要因と考えられるが、新年度において組織の風通しをいかに改善する考えか、伺う</p> <p>(2) 駐車場不足は、最悪のときと比較して緩和してきているが、いまだに路上渋滞が起こることも多く、慢性的な様相を呈してきた。抜本的な対策が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>1 財政見直しについて</p> <p>(1) 平成 28 年から地方交付税の逡減が始まる。初年度は 10%、約 4 億円減額。約 40 億円の減額は今後の財政運営にどのような影響を与えると見込まれるのか</p> <p>(2) 日銀のマイナス金利の影響で、市場では 10 年国債の金利がマイナスに転じた。大崎市の資金運用にも影響があると思うが、見直しはどうか</p> <p>(3) 大崎市は復興交付金第 14 次申請を見送ったが、第 15 次以降の申請見直しについて</p> <p>(4) 100 億円を超える財政調整基金をどのように活用していくのか</p> <p>(5) 4 月から電力小売りが自由化される。消費者としての大崎市も多様化された電気料金プランの選択に向けた取り組みが求められるが、どのように検討されているのか</p> <p>2 公共交通のあり方について</p> <p>(1) 2025 年には団塊の世代が 75 歳を迎え、交通弱者としての高齢者が大幅に増えていく。公共交通網形成計画では高齢者への手厚い対応が求められるが、どのように配慮していくのか</p> <p>(2) 古川駅と塚目駅は中心市街地の交通拠点 2 核に位置付けられる。大崎市の玄関である古川駅と市民病院を中心とした新しい中心市街地の塚目駅の周辺整備こそ、新たな 10 年に向けた重要施策になる。両駅を中心とした公共交通網形成と道路整備が急がれると思うが、どのように進めていく考えか</p> <p>(3) 隣接自治体との公共交通路線連携をどのように進めていくのか</p> <p>3 少子化対策について</p> <p>(1) 子育て支援を結婚前から誕生、成長して社会人としてのスタートを切るまでの政策として推進していく、子育て</p>	90 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>支援から子育て政策へ発展的に組織改編することについて</p> <p>4 国民健康保険制度の将来見通しについて</p> <p>(1) 現在、市町村で独自の保険料を県内統一の保険料にしていくということは、後期高齢者医療広域連合と同イメージで捉えていいのか</p> <p>(2) 悪性腫瘍等は早期発見の重要性が問われ、健康診査が有効な手段の一つに位置づけられている。将来的な医療費削減は若い世代からの健康管理が最重要と思うが、受診率向上に向けた取り組みの方向性は</p> <p>5 病院事業の経営について</p> <p>(1) 診療報酬の引き下げが行われるが、1パーセント前後の引き下げが病院経営に及ぼす影響をどのように分析しているか</p> <p>(2) 石巻赤十字病院は、昨年10月から救急搬送の軽症患者に時間外料金2,700円を請求することで救命救急センターの機能分担を明確化するための方策をとっている。同様の問題を抱える大崎市民病院でも検討に値すると思うが、検討されたのか</p> <p>(3) かかりつけ医との機能分担を推進するために、紹介状なしで市民病院を受診した初診者に5,400円の非紹介状加算を求めているが、これを負担してもらうことでかかりつけ医との機能分担は図られているのか</p> <p>(4) 時間外手当の未払い問題は以前にも是正勧告を受けているが、なぜ再度勧告を受けたのか。また、院内改革をめざし組織改編をするが、その目玉となるのは経営改革かコンプライアンスか</p> <p>6 福島第一原発事故に伴う指定廃棄物処分の方向性と大崎市の対応について</p> <p>(1) 県内3カ所に絞られた候補地全てが返上を表明した。国で示している1カ所集約処分の方針に対する市の考えについて</p> <p>(2) 保管の現状把握はどのように行われているのか。県との情報共有はなされているのか</p> <p>7 災害復興の取り組みについて</p> <p>(1) 特に水害に対する復旧で、国や県に対してどのような要望を求めて安全・安心な地域の構築を図ろうとしているのか</p> <p>12 関 武徳</p> <p>1 市政運営について（合併10年の検証）</p> <p>(1) 総合計画の策定について、社会情勢の変化や新たな課題への対応、まちづくりの指針として策定するとしているが、作業手順をどう捉えているのか。主たる課題や新たな具体的市政目標はどう示すのか</p> <p>(2) 職員の定数削減の功罪についてどのように検証し、今後の対処策をどう構築するのか。（財政上の効果と職員の職場環境、市民サービスの満足度、緊急雇用対策廃止への対応等）</p> <p>(3) 本庁と6総合支所の機能分担の検証と、これから10年</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>の地域市民が期待する本庁、総合支所の機能充実をどう図るのか</p> <p>(4) 地方創生を担う人材育成・活用の考え</p> <p>2 おおさき市地方創生総合戦略の取り組みについて</p> <p>(1) 4つの基本目標と継続・新規合わせて177事業が挙げられているが、他の自治体においても同様の整え方向が見られる。自治体間の知恵出し、政策推進力が試されるような競争の中で、本市の可能性や魅力をどう形づくるのか。実効性を高める事業手法や推進策、庁内組織体制の考え方を伺う</p> <p>(2) これまでの施策事業のスクラップ・アンド・ビルドの整理は必然であるが、その作業工程はどう取り組むのか</p> <p>(3) 地方創生は市民協働による全世代オールおおさきでの取り組みが必要と思うが、総合戦略の意識喚起をどう生み出す考えか</p> <p>3 地域振興推進強化の考え方について</p> <p>(1) 本庁舎及び田尻、鳴子支所庁舎建設計画が着手されるが、どのような課題や整備目標を捉えた取り組みとなるのか</p> <p>(2) 本庁舎は、周辺整備との関係性が位置付けられているが、捉えるべき課題はどのようなものか。民間の中心市街地再開発整備計画との調整連携は図られるのか</p> <p>(3) 新たな工業団地の調査選定に入るが、企業サイドの進出意向、立地ニーズを捉えてのことか。また、市全体の土地利用計画を見直す考えはないか</p> <p>4 産業振興について</p> <p>(1) TPP対応と本市農業の成長戦略について</p> <p>ア 第1次産業を地域基盤としている本市は、TPPなどの外的変化や、高齢化、労働力不足等の内的要因で厳しい局面が想定される。国の各種施策の活用や担い手強化専門員の配置等が示されているが、これまでの産業戦略を検証し、グローバルな取り組みや1次産業の振興推進策の具体的所信を伺う</p> <p>(2) 観光振興ビジョンとまちなか再生、宿泊増への施策</p> <p>ア 観光振興ビジョンの行動指針と戦略に基づき、おもてなし力のアップ、観光資源のPR、地域一体型の観光推進等が示されているが、観光振興への具体的な課題認識と目標をどのように捉えているのか、伺う</p> <p>(3) 企業誘致の戦略とアクションについて</p> <p>ア 県外展示会への出店や、企業間連携での製品開発、企業立地セミナー、企業訪問等継続的に取り組むようだが、企業集積の業種目標や方針、人的ネットワーク、情報収集の拡充等の考えを伺う</p> <p>5 大崎広域事業と本市のかかわり</p> <p>(1) 広域行政の建設事業計画と立地自治体となる本市の果たす役割として、関係地域、地権者との合意形成に際し、発生する施設建設受け入れ条件の確実な実現へどう取り組む考えか</p> <p>(2) 発生する財政需要について、その負担の合意はどう形成</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
4	25	日本共産党大崎市 議会議員団 小沢和悦	<p>されているのか</p> <p>1 9・11 豪雨被害被災者支援策について</p> <p>(1) (被災者支援の基本姿勢として) 宮城県には、破堤の危険を知らず放置したことによる県管理河川の破堤であり、「人災」という被災者の指摘をしっかりと受けとめていただいているのか</p> <p>(2) 被災者の被害額の大きさに見合った支援策について</p> <p>2 利用したい市民が利用できる大崎市公共交通体系について</p> <p>(1) 今、大崎市が目指しているのは、住民の声を把握し、住み慣れた地域で、健康で文化的な生活を営む権利を極力保証できる交通体系をつくることか</p> <p>(2) ワゴン車タイプを含む市民バスの運賃、デマンド交通運賃の基本的考え方について、隣接市町村の運賃も参考にして設定するのか</p> <p>3 医療介護総合確保推進法と宮城県地域医療構想策定作業への大崎市の対応について</p> <p>(1) 国の狙いと地域医療の実態から見たあるべき姿について</p> <p>(2) 大崎・栗原医療圏では、療養病床 800 削減と言われているようだが、その数字の根拠に問題はないのか</p> <p>4 国保税を支払うと生活保護基準以下の収入になる市民の国保税減額制度の創設について</p> <p>(1) 平成 27 年度分で、国保税支払いによって生活保護基準以下になる世帯数はどれだけあるのか</p> <p>(2) そうした世帯対象の国保税軽減制度の創設</p>	60 分
5	10	清和会 加藤善市	<p>1 大崎市誕生 10 周年、新たな大崎市発展のための取り組みについて</p> <p>(1) 東日本大震災後の大崎市の経済について</p> <p>(2) 道路整備と活用について</p> <p>(3) TPPへの取り組みについて</p> <p>(4) 市民協働のまちづくりについて</p>	45 分
6	11	公明党 横山悦子	<p>1 新電力に対する市の取り組みについて</p> <p>(1) 電力自由化に伴う新電力導入検討について</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 子ども医療費の所得制限の撤廃と対象拡大について</p> <p>(2) 医療ケアの必要な幼児の保育所通所を可能にできないのか</p> <p>3 病院事業について</p> <p>(1) 500 床規模に向けて対策は万全か</p> <p>(2) 婦人科で不妊治療できないか</p> <p>(3) がん患者が増えているが、PET-CTを活用した人間ドック実現について</p> <p>(4) 宮城県ドクターヘリの活用について</p>	30 分